



明野



【TEL】0144-57-1811 【FAX】0144-57-1812
【HP】<http://www.city.tomakomai.hokkaido.jp/gakko/akeno/>

学校教育目標

- ・豊かな感性を育む生徒
- ・学ぶ意欲を育む生徒
- ・逞しい心身を育む生徒

懸命にゴールを目指す背中、思いをつなぐバトン、「頑張れ〜！」の声援、生徒たちの真剣さが空気となって伝わってきます。3年ぶりに制限のない体育大会(5/26)は、意気揚々とグラウンドを駆け抜ける明中生を見ることができました。中学生って素晴らしい、そう感じる一日でした。

Learning by Doing 「為すことによって学ぶ」

同じ姿は、苫小牧から遠く800km離れた東京でも見ることができました。

SDGsの学習を大きな目標に掲げた二泊三日の修学旅行(5/9~11)は、昔ながらの物見遊山の修学旅行と大きく異なります。旅行2日目はグループでの校内自主研修でした。SDGsに取り組む企業を訪問し、地元苫小牧に活かすことはできないかと課題を持って調べていきます。複雑な交通網や初対面の人への対応に不安そうな表情で出発する生徒もいましたが、ミッションを終え無事に帰着した生徒の顔は自信と満足感にあふれていました。ちょっと背伸びした経験が生徒を一回りも二回りも成長させたと感じています。



～体育大会の裏側で～

今年の体育大会はコロナ禍の経験をいかし、内容や取組方法の見直しを図りました。例えば、これまで学年で指導していたリレーは授業として体育教師が指導しました。当日はトップスピードでバトンを受け渡す場面が多く見られ、競技力の向上がゴール前の白熱した展開につながりました。取組方法を見直すことで、生徒の新たな可能性を引き出すことができたと思っています。

～部活動、中体連にも変化が～

6月からは中体連大会が始まります。今年の中体連大会からは学校の部活動だけではなく地域クラブも参加が可能となりました。スポーツ庁の掲げる「部活動の地域移行」を受けた中体連改革の一つです。

少子化やスポーツ、レジャーの多様化などにより部活動加入者は減少の一途をたどり、学校だけで中学生のスポーツ環境を整えることが困難な状況になっています。持続可能な青少年スポーツの在り方を構築するためにスポーツ庁が中心となり、令和5年度から令和7年度の3年間で土日、休日の部活動の地域移行を積極的に進めるという方針を打ち出しました。地域クラブの中体連参加もこうした事情によるものです。本校においては剣道や柔道など、これまで窓口部として出場していた選手が地域クラブで出場します。部活動で大会に出場する選手も、地域クラブで出場する選手も、大会にかける思いや経験から得られるものに違いはありません。明中選手の活躍を大いに期待しています。その一方で、今年度成立している部活動も次年度は部員が集まるのかなど今後のことを考えると悩ましい限りです。持続可能なスポーツ環境を生徒たちに提供していくためには変化が必要であり、ここ数年はその過渡期であることをご理解ください。学校からも適切に情報を発信していきたいと思っています。



～守ること、変わること～

中学生は経験を通して大きく成長をしていきます。経験の先にある自信や満足感、仲間との絆は今も昔も変わらぬ不易なものであり、こうした成長の機会は学校としても大切にしていきたいと考えています。しかしながら、社会環境や時代が求めるものが変化する中、大切なものを守り、維持するためには、逆に変化することも必要です。

大切なことを変えないために変わる。変わることで大切なことを守っていく。

そして、行事だけでなく教育活動全体を通して、「主体性、協働性、実践力」のある明野中学校の生徒を育てていきたいと考えています。

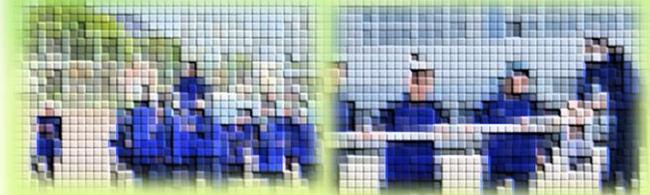
最後になりましたが、体育大会では多くの保護者、地域の方々にご来場いただきました。生徒がいつも以上の力を発揮できたのも温かなご声援があったこと。改めて家庭、地域の皆様のご支援とご協力に感謝申し上げます。ありがとうございました。

Akeno Gallery



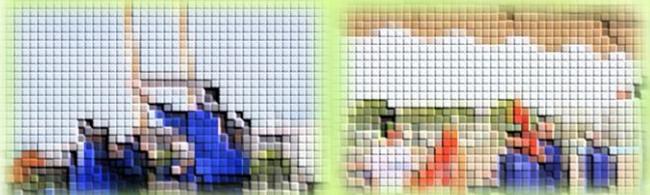
修学旅行①

修学旅行②



体育大会（1年団体）

体育大会（2年団体）



体育大会（3年団体）

体育大会（表彰式）

充実した3日間でした

3年生が、5月9日（火）～11日（木）の日程で修学旅行に行き、充実した3日間を過ごしてきました。特に自主研修では、SDGsをテーマに東京の事業者を訪れ、持続可能な社会の実現に向けて各企業で取り組んでいること等をインタビューしてきました。事業所を決めるのも、アポイントを取るのも、質問事項を考えるのも、全て生徒自身が協力して行いました。慣れない東京でも迷子になることなく、たくましく成長して帰ってきたようです。

開花～新たな自分を咲かせる～

5月26日（金）、『第32回 体育大会』が開催されました、心配されていた雨もなく、絶好のコンディションのもと、熱戦が繰り広げられました。特に団体競技やリレーでは、学級で勝つためにどうすればよいか真剣に考え、競技に臨みました。勝ち負けはともかく、生徒それぞれが自分の良さを発見し、新しい自分を咲かせた一日となりました。

先日、さくら連絡網を使って、家庭でのWi-Fi環境等に関するアンケートのお願いをしました。既に回答いただいたご家庭もありますが、お済みでない方は是非ご協力をお願いいたします。今後は、家庭学習や宿題、レポート等をタブレットで行うことになるかもしれません。そのための調査です。お忙しいところ申し訳ありませんが、ご協力をお願いいたします。

令和5年度のPTA活動

5月8日（月）、PTA役員会を行い、その結果を受け、5月15日（月）よりPTA総会を书面会議で行いました。その結果、全204家庭の68%にあたる139家庭の承認をいただきました。この結果を持って、総会資料の内容を今年度のPTA活動の方針とさせていただきます。また、PTA活動についていくつかご意見をいただきましたので、今後の活動の中でご返答していきます。今後もPTAの皆様にご相談しなければならぬことがあると思いますが、よろしくお願いいたします。

【PTA役員】

会長	様	学年 委員長	様
副会長	川本 健二 教頭		様
会計	加藤 里英 教諭	会計 監査	様
事務局長	荒井 康男 教諭		様

地域に支えられています

明野柳町内会婦人部の皆様より、大量の雑巾を寄贈していただきました。雑巾は、生徒の学習環境を維持していくために必ず必要です。先日の体育大会や避難訓練でも活用させていただきました。



また、毎週金曜日には、町内会の方々で見廻りをしてくださっています。本当に、学校は地域に支えられていると実感しています。今後とも、明野中学校の生徒のために、ご協力をお願いいたします。

地域と学校が連携した教育の推進へ

5月25日（木）、明野中学校区学校運営協議会を行いました。この会は、今年度から苫小牧市の全中学校区で開かれる地域と学校が連携して行くための組織です。今回は、小中学校の学校経営方針の説明と、最近の学校課題について協議を行いました。



スクールカウンセラー、心の相談室について

【スクールカウンセラー】 上井 理絵 先生

（6月の来校日）7日（水）、21日（水）

※12時～16時（それ以外は、ご相談ください）

【心の相談室】 長嶺 晴恵 先生

基本は、火曜日、木曜日に来校します。

※11時30分～15時30分

※上記以外の時間をご希望の方は、ご相談ください。